

2019年10月18日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第10次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	すまいりんぐ		
団体名称	スマイリング		
代表者職名	代表	ふりがな	とくだ のりこ
		代表者氏名	徳田 典子 
ふりがな			
団体住所			
電話番号			
設立年もしくは活動年数	2018年10月		
スタッフ数	有給スタッフ _____ 名・無報酬スタッフ 29 名・ボランティア等 10 名		
団体HP(あれば)			
FBページ(あれば)	https://www.facebook.com/pages/category/Community-Organization/スマイリング-212575656308724/		
CANPAN登録(原則必須)	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> あり(星3つ)【団体ID: 1809727942】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	副代表	ふりがな	あさの こうへい
		担当者氏名	浅野 幸平
郵送物送付先住所			
担当者電話番号(極力携帯番号)			

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者	事務局記入欄 CANPAN登録	有・なし(予定 月 日頃)
-------------------	--------------------	---------------

申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	夢気球プロジェクト「気球に乗って眺めるわが町真備町」
事業概要 (事業内容を簡単に)	子供たちを中心に西日本豪雨災害に被災された方々を対象にした気球係留により、普段過ごしている街並みを少し高い位置から眺めることで、心広げ家族や地域の方々と心の交流と活性化を目指します。
活動(予定)期間	2019年 11月 1日 ~ 2020年 3月 31日
活動(予定)場所	真備中学校もしくは真備東中学校 校庭
受益者数	直接受益者(真備町在住の子供たち 200名) 間接受益者(ご家族や真備町在住の方々 900名)※いる場合
事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況) <ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか <p>現在真備中学校の校舎が賑わうことがありません。長年の思いや思い出がしみ込んだ校庭の表面は削られ新しい土が投入されましたが生徒が集い賑わう学校になるのはまだ先のとこだと聞いています。思い出の校舎で学ぶことも友と集うことも叶わない来春の卒業予定者である生徒さんや真備町に住む子供たちを約200名を対象にした気球係留を開催する。夢の気球に乗って自然豊かな真備町を改めて感じ普段とは視点の違う眼下に広がる眺望を風になり空から得られる新しい感覚を体感することで子供たちが目と体で体感し感じたことを語ることで、生徒間はもちろん、先生と生徒また家族や地域の方々と気球という共通キーワードをもとに夢と希望の語らいの場を広げ交流の場が活性化することへの支援活動を進めたいと考えています。</p> <p>またこの活動では対象となる子供たちやご家族や地域の方々にも支援者を募り、沢山の方々が見守り関わっていることを感じてもらえることを感謝する場となることを目指します。</p>	
事業の実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことをいつ(回数等)やるのか <p>・受験期間を考慮し12月下旬まで、もしくは試験を終えた翌年の3月を開催予定期間とし、真備中学校もしくは真備東中学校のいずれかの校庭もしくは高梁川、小田川の河川敷にて気球係留を実施する。</p>	
事業の実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など <p>・スマイリング 代表 徳田典子 他スマイリングメンバー 27名</p> <p>・岡山気球連合会 眞野 佳子 他岡山気球連合会メンバー 10名</p>	

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続す場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

・小田川河川敷、特に備中呉妹駅の周辺や真備中学校は公共機関を介した催しへの参加が可能であり、絶好のロケーションになります。今後継続的に同様な催しを開催することにより真備町は「気球に乗れる町」というイメージを定着させることが可能であり恒例の行事へと発展させることが期待できます。この活動は気球に乗れた人だけでなく、水害をもたらした河川も日常から関わり関心を持つことで災害の発生率を低減するだけでなく自分たちで守る河川活動に繋がると考えます。その活動に間接的に夢を見ることが出来る気球は子供たちの夢を育てるだけでなく、自らが住む地区を自主的な意見や主張で語れ、自主的に活動を可能とする人材に育てて欲しいと思います。

気球に乗って過ごしてきた地元を眺める、ちょっと高い位置から周囲を見つめたり、他では出来ない体験を気球を介して感じることで、先生や生徒間また地域の方々と語らう機会を設ける催しでありたいと思います。そのために心通う地元の中学校の校庭で気球係留を実現したいと考えています。

気球を介し真備町を巣立つ若人の成長していく一つの通過点として心に刻み伝統の行事となることを目指したいと思います。

その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	500,000	
合 計	500,000	

2) 本事業の支出

費 目 (必要な場合算出根拠)	金 額	備 考
気球係留依頼費 気球 2 基 (200,000 円/基)	400,000	
河川敷き清掃用草刈り機 2 基 (25,000 円/基)	50,000	
催し案内自立型サインボード (10,000 円×2 台)	20,000	
踏み台 (気球係留時の乗込みステップ 5,000 円×2 台)	10,000	
催し関連保険 (10,000 円×2 基開催)	20,000	
合 計	500,000	

備考欄

河川敷き清掃用草刈り機および催し案内自立型サインボード等は他のボランティア活動時にも活用します。